

短期大学部

保育科 推薦入学試験 一期 「小論文」論題

時間…六〇分

〈平成二十七年年度〉

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

遊びはあらゆる行動の中で、最も自由な束縛されない行動であり、それゆえに子どもの持つ創造性が最も有効に発揮^{はたき}できる。ここでいう創造性とは、周囲の世界からの刺激を単に受容するのではなく、まわりの世界を変革し、新しいイメージ、新しい行動を生み出していくことであり、これは周囲の世界への働きかけの新しい方法の生産であるともいえ、きわめて知的な行動である。ゆえに創造的遊びにおいて、子どもの能力が十分発揮され、内面的成熟が期待される。もちろん自由な行動とはいっても、環境と無関係ではなく、子どもが置かれている状況、すなわち遊びの道具、対象などが創造性の発揮に影響する。積木、粘土、折紙等は、素材が可塑的^{かそ}(注)であるため、創造性の発揮が容易であるといえる。しかしこれらを与えさえすれば、創造性が発揮されるとはきまっていないのであり、どこまでもその対象が子どもにとってどのような意味をもつかにかかっている。もちろんこの創造的遊びは、子どもの年齢により、発達水準により、その現われ方に差があるのは当然である。

注

可塑的^{かそ}…外からの力を受けて変形しやすい性質のこと。積木や粘土、折紙などは、子どもたちが扱うことによつてさまざまに形を変えてゆくことを述べている。

(村井潤一「発達におけるコミュニケーション」、遊び、学習、労働の意味と役割」、『岩波講座 子どもの発達と教育』3 発達と教育の基礎理論』所収、岩波書店)

問い

右の本文の内容をふまえ、遊びの具体例をあげながら、「子どもにとつての遊びの意味」という題で小論文を書きなさい。

(六〇〇字以内・横書き。小論文の題の記入は不要です。解答用紙の一行目から小論文を書き出してください。)

保育科 推薦入学試験 二期(自己推薦) 「小論文」論題

時間…六〇分

〈平成二十七年年度〉

「現代社会と子どもが求めている保育者像とは」というタイトルで小論文を作成してください。ここでいう「保育者」とは、保育士、幼稚園教諭を意味していますが、どちらか一方を想定して書いてもかまいません。

(六〇〇字以内・横書き。小論文のタイトルの記入は不要です。解答用紙の一行目から小論文を書き出してください。)

保育科 推薦入学試験 三期(自己推薦) 「小論文」論題

時間…六〇分

〈平成二十七年年度〉

幼い子どもの成長にとつて、動物や植物など自然とのかかわりは、どのような意味をもっていると考えますか。また、子どもたちが自然とかわる場面で、あなたはどのようなことを大切にしたいと考えますか。具体例をあげながら、あなたの考えを述べなさい。

(六〇〇字以内・横書き。小論文の題の記入は不要です。解答用紙の一行目から小論文を書き出してください。)

保育科 推薦入学試験 一期 「小論文」論題

時間…六〇分

〈平成二十六年年度〉

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

私はときどき、「絵本を上手に読むコツは？」と、きかれることがあるのですが、そのたびに、問題の立て方がどこかちがうという気がしてなりません。上手な読み方をすれば、子どもをひきつけることができるというのは、絵本を読む場の、人と人との関係に深くつきささらない考え方だと思っております。

絵本を読む場は、映画館や劇場ではありません。大人と子どもが向かい合って絵本を読むとき、お互いどんな気持ちでいるのか、そこが双方にとつてとても大切なことです。そこを抜きに、上手とか下手とか技術を問題にするのは、どこか冷やかな無神経さを感じて、私はいつも腹立たしくなります。

たくさんの子どもに読むのも、わが子ひとりに読むのも、基本的には私にとつては同じ。目の前の子を自分の絵本読みのパートナーとして、どれだけ信頼できるか、子どもの方も私をどれだけ信頼してくれるか、その場の互いの信頼感が絵本を立ち上がらせる土台だと思うのです。だからこそ、親子で読むのがいちばんであり、よその子たちに絵本を読んでやるむずかしさがあります。

（長谷川摂子『絵本が目をさますとき』福音館書店）

問

右の文章は、絵本の読み聞かせのあり方について語りながら、保育者の子どもへのかかわり方の大切な点に触れています。右の文章の内容をふまえ、保育者は子どもにどのようにかかわったらいのか、あなたの考えを述べなさい。（ここでいう保育者とは、幼稚園教諭や保育士のことをさします）

（六〇〇字以内・横書き。小論文の題の記入は不要です。解答用紙の一行目から小論文を書き出してください）

保育科 推薦入学試験 二期 「小論文」論題

時間…六〇分

〈平成二十六年年度〉

現代社会では、どのような保育者が求められていると思いますか。あなたの考えを論理的に述べなさい。その際、「コミュニケーション」「心身の発達」という言葉をそれぞれ必ず一回以上使用してください。（ここでいう保育者とは、幼稚園教諭や保育士のことをさします）

（六〇〇字以内・横書き。小論文の題の記入は不要です。解答用紙の一行目から小論文を書き出してください）

保育科 推薦入学試験 三期（自己推薦） 「小論文」論題

時間…六〇分

〈平成二十六年年度〉

幼児期に自然と親しむことは子どもの成長にとって大切なことだと考えられています。が、「幼児と自然とのかかわり」という題で小論文を書きなさい。その際、「感覚」および「想像力」という言葉をそれぞれ必ず一回以上使用してください。

（六〇〇字以内・横書き。小論文の題の記入は不要です。解答用紙の一行目から小論文を書き出してください）

保育科 推薦入学試験 一期 「小論文」論題

時間…六〇分

〈平成二十五年年度〉

次の課題文を読んで以下の問いについて解答してください。

『わたしと小鳥とすずと』

金子みすゞ』

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのように、
地面をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう
たくさんなうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

問題

この中の「わたし」は、自分のどんな能力に気づいているのでしょうか？それと同時に、自分と他者を比較しながらそれぞれの価値に気づいているのではないか、と出題者は考えます。

出題者の考えを参考に、①金子みすゞが表現したかったことについて、課題文に即してあなたの考えを述べなさい。また、②その視点が保育を行うにあたって、どのように役立つと考えられるか、具体的事例を挙げて述べなさい。(600字以内)

保育科 推薦入学試験 二期 「小論文」論題

時間…六〇分

〈平成二十五年年度〉

問題

幼稚園・保育所等で子どもが「遊ぶ」ことは、どのような意味を持っているとあなたは考えますか。(600字以内で述べなさい。)

保育科 推薦入学試験 三期(自己推薦) 「小論文」論題

時間…六〇分

〈平成二十五年年度〉

問題

「幼児期の兄弟(姉妹)ゲンカ」に、あなたはどのような意味があると思いますか。(600字以内で述べなさい。)

歯科衛生科 推薦入学試験「小論文」論題一覧

(平成27年度～平成25年度)

時間：60分

字数：600字以内

年 度	論 題	
平成27年度	1期	「歯科衛生士で最も大事なこと」について600字以内で書きなさい。
	2期 (自己推薦)	「歯科衛生士の将来像」について600字以内で書きなさい。
	3期 (自己推薦)	「口から考える健康とは」について600字以内で書きなさい。
平成26年度	1期	「全身の健康における口腔の役割」について600字以内で書きなさい。
	2期	「口から考える健康とは？」について600字以内で書きなさい。
	3期 (自己推薦)	「21世紀における歯科衛生士の役割」について600字以内で書きなさい。
平成25年度	1期	「ムシ歯の予防の重要性」について600字以内で書きなさい。
	2期	「歯科衛生士の将来像」について600字以内で書きなさい。
	3期 (自己推薦)	「理想の歯科衛生士とは？」について600字以内で書きなさい。
	4期 (自己推薦)	「大学生時代に学ぶことの意義」について600字以内で書きなさい。

国語

(2) 学科共通

注意事項

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答用紙は問題冊子と別に印刷されているから、誤らないよう注意すること。
- 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に縦書きで記入すること。
- この冊子の問題部分は全部で7ページである。
- 解答用紙の指定の欄に、志望学科名・受験番号・氏名を忘れないよう記入すること。
- 落丁または印刷の不鮮明な箇所があれば申し出ること。
- 試験時間は六十分間である。
- 試験終了後、解答用紙は問題冊子の上に伏せて置くこと。
- この冊子は持ち帰らないこと。

□ 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

言葉に絵画、工業製品など、ヒトのつくり出すものに真に「中々ソツ」的なものはほとんど存在しないといわれている。ヒトの言動もあらゆることである。いずれも過去に存在したものの焼き直しであり、大なり小なり模倣である。

実はヒト以外の生物も模倣する。まねずきものがあれば、必ずといってよいほどまねられる。A ヒトが「これをまねよう」と思っているのをまねるように、固体が何かを見て変化をするといふことはない。

そう思ったに違いないと信じてしまおうと、よくできている。ともあがる。ヒトのまねと異なるのは、それが生物個体の意思によるものでなく、突然変異と自然選択の膨大な積み重ねによる。I の結果という点である。

B 生物が何か別のものに姿や声、匂いなどを似せることを「擬態」という。擬態は生物によるまねの最たるものである。実は昆虫のかなりものは、なんらかの擬態をしているといつてよい。

擬態と思われるものが本当に擬態であるか否か、昆虫の色彩や形の意味を突き止めるのは難しいが、「隠蔽擬態」だけはわかりやすい事例である。

隠蔽擬態とは、別の自然物に姿を似せて、捕食者の目をくらますことである。C 忍者の「隠れ身の術」である。

一番身近な例は、植物の葉に似せるバッタ目のバッタやキリギリスのなかまである。また、木の枝をそっくりなナナフシ目なキリギリスの名な擬態昆虫である。このような虫は本当に見つけるのが難しく、動かないとわからないことがほとんどである。

これらの昆虫のなかまはたいていなんらかの植物への擬態をしており、ナナフシの一種であるコノハムシは葉っぱそのものといつていい

くらいに「ゴキウ」に擬態している。東南アジアや南米のキルベリスでは葉っぱをそっくりの木のや、地衣類やコケたぐりのものもある。

D 植物に似せるだけでは、日本の河川敷や海岸に住むワラバッタやヤマトマダラバッタは、地面をそっくりの色や模様をしていり、アフリカのカンゾウ地帯に生息するバッタの一種は、小石のような姿で、石そのものに姿を似せている。

日本の昆虫だけでも、地衣類のなかにはむむコダラウスバガゴロウというミメカゴロウのウスバガゴロウ科の幼虫や、木の樹皮にそっくりなキノカワガというコバガ科のガなど、ゴキウな擬態をするものは数え切れない。

身近な昆虫として忘れてはならないのは、シャクトリムシである。シャクトリガの幼虫のワツウツウであり、多くの種が植物の一部に姿を似せている。木の枝をそっくりのものも多く、クダシヤの幼虫は「土俵」とも呼ばれるが、その名は、枝と間違えて上根を付けてしまい、それが落ちて倒れてしまったという伝説由来である。

トビモンオオダシヤの幼虫に似ていて、林表の成分までの植物に似せていることがわかっていて、鳥など視覚で顔を探す捕食者だけでなく、アリなどのように嗅覚で顔を探す天敵に対して有効な手段である。

このように化学成分を別のものに似せることを「化学擬態」といふが、この方の幼虫は、隠蔽擬態とそれを同時にこなしているわけである。

権力を持つ他人の後ろ盾で威張る人、という意味の II ということわざがあるが、それに近い現象が自然界にも見られる。それは、無害な生物が有毒な生物に似せる「イミテ擬態」である。このような擬態の発見者であり、偉大な博物学者である「エンリッヒウオルト」にちなむ。

I とくに有名な例は、先述のマダラチヨウや雨米に生息するドクチヨウ

フのなかまである。それらのチヨウの生息する地域では、ほぼ確実に各種に擬態する無毒のチヨウがいる。E マネシアガハなどのアゲハチヨウのなかまは、種や地域によって、さまざまなマダラチヨウに擬態しており、そのゴキウウさはい事である。

そっくりなのは姿だけではない。毒のあるチヨウは捕食者が少ないためか、ゆっくりと飛ぶことが多いが、これらのアゲハチヨウはその飛び方でそっくりなのである。決してふてぶてしく威嚇しているわけではないけれど、その驚愕した姿を見るとき最初に述べたことわざを思い出さずにはいられないのである。

日本にも生息するスカシバというガのなかまは、見事にアシナガバチやスズバチなどのハチに擬態している。もちろん、毒針を持つハチを恐れる捕食者に食べられないためである。

産米にはさらに見事なハチ擬態のカノコガというガのなかまがあり、目ではガとわからないほど、体の構造の細い部分までハチに似せている。

また、捕食者に嫌われる要素は、毒だけではなく、食べにくいというのでも重要な条件のようだ。そのことを教えてくれるのが、蘭嶼という台湾南部の離島からフリーピンを中心分布する甲虫目ゾウムシ科のカタンゾウムシのなかまである。

カタンゾウムシはその名の通り、とにかく硬い。歯のタテ歯では、大人が指でつぶせるかどうかで、力比べをしたという。標本にする際にも、硬く昆虫針が刺さらず、曲がってしまうほどである。

フリーピンには非常に多くの種が生息し、地味から目立さまざまな色彩のものがある。そして水玉や縞模様など、見れば目立さまざまな色帯のものがいる。その姿は歩く姿とも形容されるほど美しいが、おそろく鳥などの捕食者に対する警告色なのである。

そして面白いのは、フリーピン各地にカタンゾウムシをつくりの擬態者がいることである。よくにすこいは、カタンゾウムシというカタンゾウムシの擬態生物は、自然選択のわかりやすい例を提供してくれるものはない。さつとベイツもミューラーも、その事実を説明するものは進化論以外にないと思つたのであろう。

(丸山宗利「昆虫はこい」光文社による)

- 傍線部1のカタカナを漢字で記せ。
- 傍線部Aのオの漢字の読み仮名を記せ。
- 空欄A、Eに入る適当な語を次の中から選び、番号で記せ。
- たとえば、2 いわば 3 しかし 4 また 5 このように 6 もっとも
- 空欄Iに入る適当な語を次の中から選び、番号で記せ。
- 1 堆積 2 否定 3 進化 4 停滞 5 退化
- 空欄IIに入る適当なことわざを次の中から選び、番号で記せ。
- 1 人のふんどしで相撲を取る
- 2 虎の威を借る那
- 3 猫の小判
- 4 鶴の真似をする鳥
- 5 水山の一角

- 次の文を文中補うとすればその部分に補うのが適当か、補つた部分の直後の五空を文中から捜して記せ。
- 要素を食べることによって、その成分を体に取り込み、単に見た目だけでなく、
- 傍線部a「実はヒト以外の生物も模倣する」とあるが、本文の内容に即した「模倣」のあり方の説明として最も適当なものを選び、番号で記せ。
- ヒトもヒト以外の生物も模倣の動機は「これをまねよう」といふ強い意思である。

- 擬態の名称の由来となっているベイツもミューラーも、当初は斬新すぎて生物学者にさへ否定されたダーウィンの進化論の有力な支持者であった。ベイツにいたっては、その着想に多大な影響を与えたといふ。
- ヒトは意思によって模倣するが、ヒト以外の生物は、意思によつて模倣することはない。
- ヒトもヒト以外の生物も突然変異と自然選択という模倣をすることで進化した。
- ヒトもヒト以外の生物も常に模倣を繰り返すことで模倣の精度を高めてきた。
- ヒトは過去に存在したものを繰り返す形で模倣するが、ヒト以外の生物は、創意工夫しながら発展的模倣を繰り返す。

- 傍線部b「生物が何か別のものに姿や声、匂いなどを似せること」を「擬態」というの例として本文の内容に合致するものには○を、合致しないものには×を記せ。
- 捕食者に対して別々の嫌われる要素を持つた各個体が似せ合うことをベイツ型擬態という。
- コノハムシのように、別の自然物に姿を似せて、捕食者の目をくらますことを隠蔽擬態という。
- トビモンオオダシヤの幼虫のように体表の成分を別の自然物の成分に似せることを化学擬態という。
- 傍線部c「捕食者の学習の機会が増える」と、各個体が捕食される可能性が低くなる。の説明として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

- 捕食者が、違う種類の個体を同一種類の個体と誤って認識する可能性が高まるため、結果的に似た模様をしたものすべての個体が捕食から免れる可能性が高まる。
- 捕食者が、似たような模様であったとしても異なる種類の個体で

あると認識する機会が増えるので、結果的にそのうちの一種類が捕食される可能性が高まる。

3 捕食者が、遠く種類の個体を同一種類の個体だと誤って認識する可能性が高まるため、結果的に似た模様をしたものすべての個体を捕食しようとし、対象が多くなることで、捕食から免れる可能性が高まる。

4 捕食者が、似通った模様であったとしても異なる種類の個体であると認識する機会が増えるので、結果的に似た模様をしたものすべての個体を捕食しようとし、対象が多くなることで、捕食から免れる可能性が高まる。

5 捕食者が、遠く種類の個体を同一種類の個体だと誤って認識する可能性が高まるため、結果的にそのうちの一種類が捕食される可能性が高まる。

間十 次の1〜5の中で、本文の内容に合致するものは○を、合致しないものは×を記せ。

1 ヒトのつくり出すものに、本来の意味でそれまでになかった新しいものはほとんど存在しないといわれている。ヒトの言動はもろもろのことである。いずれも過去に存在したものに部分的に手を加えたり多少趣向を変えたりして新しいものであるように仕立て直しているものであり、大なり小なり模倣である。

2 生物は、個体が何かを見て変化をするという場合がほとんどである。ヒトがこれをまねようと思つて何かをまねるようになり、個体も何かを見て変化をするということがよく見られる。そう思つたに違いないと信じざるを得ないほど他のものもよく似ている場合が多いことから分かる。

3 擬態には、「隠蔽擬態」や「化学擬態」などの分類がなされているが、個体がこれらの擬態を同時にこなしているケースはほとんどみられない。たいていの擬態は、それぞれ別の擬態に特化したものである。

4 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

スペインのアルタミヤや、フランスのラスコーの洞窟に動物の画を描いた原始人たちは、ヤツとばかり、描かれた動物を槍で突き刺したり、それにむかって矢を射かけたらしい。画面そのものなかに、動物を傷つける槍や矢を描き込みました。ワナを描き、ブレイメンを描いた。このことはこの事柄を物語つてい

第1に、彼等が動物の面を描いたのは、美的鑑賞のために描いたのではなく、マジックの手段として描いたことである。彼等は狩猟の成功をいのつたのである。すなわち、最初の芸術は芸術になつたのである。

第2に、原始人たちにとっては、描かれた動物を殺すことは、生き残るための必要手段であり、その一部分であつた、というこは記憶しておいていいことである。「うち次第に、現実世界と対立する芸術意欲」というものが支配的になつて行くが、芸術の領域は通常の現実世界というよりも、歴史時代に入つてからの芸術作品にあっては、フィクションとして芸術全体の中における一つのフィクションにすぎないのだけれども、アールノド・ハウザーは、

このハウザーのような意見に対しては、**B**「反対意見もある。それは人間心の個人差がいかに大きく、多種多様であるかのシロクワでもある。人は動物において、己れのセイジヨウが傾く方向にしたがつて資料や現象の山を載るのである。しかし、私はこのハウザー

したもになつていく。擬態に関する分類については、その擬態の仕方名前前につける場合と、考え方を発見したり唱出した学者に由来した名前がつけられる場合とがある。しかし、ほとんどの生物学者は、有力な支持者となつた。そして、ペイツやミューラーにいたつては、その着想に基づいて様々な発見をした。

当初ダーウインの進化論は、一般社会においては斬新すぎて否定された。しかし、ほとんどの生物学者は、有力な支持者となつた。そして、ペイツやミューラーにいたつては、その着想に基づいて様々な発見をした。

海の日沈むをみればなり落し異郷の源——といへば、大時代なロマンチズムともいへば、大きな落日をみて感動し、その悲しみをまげたるに似た感動のなかに快感を感じる心が人間にはある。その感動が「リフレク」の怨いを託すばかりでなく、そのころをなぬ人間の蓋因や、すところある人として何をなすべきかをまだ知らぬ人間の思いを託したいし、託する心がある。それもまた、満たされた心のはたらきの一つである。

文学を生む動機には、組織と調音する喜び、秩序の讃美さえ受けたいなかつた。ギリシアの叙事詩には、雄々しい英雄たちの歌がうたわねいて、ホメロスがそれを歌つて歩いた時代のもう一つ前の時代、**C** 両遊詩以前の弾指詩人の時代には、その性質が一段と驚かたてたやうと考えられる。「万葉集」には、大君を無条件にたたえた歌が少なくない。ヨロツバについていえば、古代における封建時代の文学の特色とおなじものは、中世における「原始時代の文学」にも発見されるやうだ。それらの時代には、秩序を「ゴブサ」とか「満たされたい心」を満たすことである。文学をつくるためには、文学の才能を必要とする。画をかくためには絵画的才能を必要とするやうな、異なる「感動」に於いては足りな

「感動」と、その文学的表現の間には、誰でもとび越せるときかめ深い溝がある。ものみの八うち川の網代木にいたるやうに、知らずとも、という歌は、無意味な句をつみ重ねている。おまげに、意味のある部分

にしても、それを散文に訳せば、なんじいそれは、といったい、単純といえは単純なものである。**D** 千年の歳月も消えどこのまじない生命を宿している。それは福沢の都合だが、この種の技術的な約束ごとをも含めて、文学上の技術がある。技術はまた、ものをみる主体に逆にはたらきかける。文学の才能がなければ、文学の問題は土台に止まらぬ。これは「まじない」のことである。

文学はあそびに似たものである。食うこともまねば、敵を倒す役にも立たぬものである。わび人間生活に不可避的につまみとつていられる人間も、そのような文字のあたなる興味を求め人間がいつの時代、どこにも存在するのである。言葉のひびきや長短高低の結びつき、言葉による事物の把握、言葉による思想や感情の表現、それらの連鎖反応の自己増殖のおもしろさを楽しむのもまた、満たされたい心の要求に外ならない。

E 文学その他の芸術が、モヤモヤした虚体を周囲にまわらせた。総て、その人間の生活の現実と考へねばならない。なまはど、歌は腹の足しに高まる。ある種の歌は人々の積極的自覚性を誘発し、全体の協同一致を高める。ある種の歌は人々をバラバラにし、だらしなさを、このとき歌は、もはや虚体でもなければ、無用のあそびでもだらしない。

さらに、一歩すすんでいへば、あそびに似た、いわゆる無用の業こそ理想的人間の仕事であつて、いわゆる有用の業とは、ソレに思念する世界を現実とするための手段にすぎないかも知れない。努力の伴わない享楽をする者はただ湯見だけだ。享楽の伴わない努力をする者はただ奴隷だけだ。庶民は湯見でもなければ奴隷でもない。たゞ彼は偉大な詩人だ。詩人が詩のためにする努力、人間が生かすための努力、それは彼等が偉大であればあるほど一致している。「佐藤春夫」風流論という言葉は、最後の享楽を、あそび、芸術、心の満足と読めば、人生のフランスを、虚と実をめぐり返した、それこそ芸術的な立場からの発言であることが判る。

本多秋五「無限に満たされたい心」本多秋五全集第六巻「普補堂による」

間五 傍線部a「技術はまた、ものをみる主体に逆にはたらきかける」の説明として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

1 技術にとらわれ、創造的な芸術を生み出す事ができなくなつてしまふ、ということ。

2 技術を身に付ける事ができれば、誰でも文学的才能を発揮できる、ということ。

3 技術をこらうた芸術作品は、それを鑑賞する人の物を見方を変えてしまふ、ということ。

4 技術を使い続けるなかで、未熟な作家が文学的才能を身につけていく、ということ。

5 技術や約束ごとに則することで、そこから表現者が何を生み出すかということが決まってくる、ということ。

傍線部c「人間生活に不可避的につまみとつていられる」といえる理由として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

1 人間は「満たされたい心」の要求から逃れることができず、文学を生み出すにはいられない者が常に存在するから。

2 一見役に立たないような芸術が、時には人間を変えてしまふことがあるから。

3 人間には役割があり、敵を倒すことだけが重要というわけではないから。

4 「感動」と「快感」とは表裏一体のものであり、その表現としての文学はどちらも不可欠だから。

5 文学においては「虚体」と「実体」という区別はなくなり、いずれも等価値のものとして扱われるから。

次の文を文中に補うとすればどの部分に補うのが適当か、補う部分の直後の五文字を文中から捜して記せ。

間六 傍線部c「人間生活に不可避的につまみとつていられる」といえる理由として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

1 人間は「満たされたい心」の要求から逃れることができず、文学を生み出すにはいられない者が常に存在するから。

2 一見役に立たないような芸術が、時には人間を変えてしまふことがあるから。

3 人間には役割があり、敵を倒すことだけが重要というわけではないから。

4 「感動」と「快感」とは表裏一体のものであり、その表現としての文学はどちらも不可欠だから。

5 文学においては「虚体」と「実体」という区別はなくなり、いずれも等価値のものとして扱われるから。

次の文を文中に補うとすればどの部分に補うのが適当か、補う部分の直後の五文字を文中から捜して記せ。

間七 傍線部a「技術はまた、ものをみる主体に逆にはたらきかける」の説明として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

1 技術にとらわれ、創造的な芸術を生み出す事ができなくなつてしまふ、ということ。

2 技術を身に付ける事ができれば、誰でも文学的才能を発揮できる、ということ。

3 技術をこらうた芸術作品は、それを鑑賞する人の物を見方を変えてしまふ、ということ。

4 技術を使い続けるなかで、未熟な作家が文学的才能を身につけていく、ということ。

5 技術や約束ごとに則することで、そこから表現者が何を生み出すかということが決まってくる、ということ。

傍線部c「人間生活に不可避的につまみとつていられる」といえる理由として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

1 人間は「満たされたい心」の要求から逃れることができず、文学を生み出すにはいられない者が常に存在するから。

2 一見役に立たないような芸術が、時には人間を変えてしまふことがあるから。

3 人間には役割があり、敵を倒すことだけが重要というわけではないから。

4 「感動」と「快感」とは表裏一体のものであり、その表現としての文学はどちらも不可欠だから。

間八 次の1〜6の中で、本文の内容に合致するものは○を、合致しないものは×を記せ。

1 歴史時代の芸術では、現実の世界と想像の世界を同一視することがフランクヨン成立の条件となつた。

2 「満たされたい心」のはたらきで、人間に感動をもたらし、さらにそこから芸術作品を生み出す原動力となつた。

3 組織と調音し、秩序を讃美する内容の芸術作品は、特定の時代に固有のものであり、真の芸術とはいえない。

4 「感動」と、文学的表現との間の深い溝を跳び越すことが可能になるのは、技術や約束ごとが存在するからである。

5 人生における「努力」を「享楽」と一致させることを可能にするのは、芸術家の持つ偉大な才能である。

6 芸術は「無用の業」であるがゆえに価値があるのだから、「有用の業」であることを期待してはならない。

間九 傍線部a「最初の芸術は技術が未熟で、とても芸術と呼べるものではなかった」ということ。

1 原始時代の芸術は技術が未熟で、とても芸術と呼べるものではなかった、ということ。

2 原始時代には技術鑑賞という習慣がなかったため、その対象であるべき芸術作品も存在しなかった、ということ。

3 原始時代の芸術は現実の生活と深く関わつており、後代の芸術とは性格の違つておつた、ということ。

4 最初に芸術が生まれた時代には、まだ芸術という概念が存在しなかったため、それを芸術とは認められなかった、ということ。

5 最初に生まれた芸術は現存しておらず、それを真に芸術と呼んで良いか判断できない、ということ。

間十 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

「芸術一般では語が大まかすぎて、無理をしなげばならぬ傾れがある。文学に於いては語がきつてきつて、人間はそれこそ文学以前の昔から、さまざまな「感動」によって文字をつつてきた。おどろき、おそれ、悲し、喜び、誇り——あらゆる感動のミニマムにあつたものは満たされたい心であつたように思ふ。文字がつけられた動機になつたものは、見方を変えれば、「無限に満たされたい心」であつたように思ふ。

海の日沈むをみればなり落し異郷の源——といへば、大時代なロマンチズムともいへば、大きな落日をみて感動し、その悲しみをまげたるに似た感動のなかに快感を感じる心が人間にはある。その感動が「リフレク」の怨いを託すばかりでなく、そのころをなぬ人間の蓋因や、すところある人として何をなすべきかをまだ知らぬ人間の思いを託したいし、託する心がある。それもまた、満たされた心のはたらきの一つである。

文学を生む動機には、組織と調音する喜び、秩序の讃美さえ受けたいなかつた。ギリシアの叙事詩には、雄々しい英雄たちの歌がうたわねいて、ホメロスがそれを歌つて歩いた時代のもう一つ前の時代、**C** 両遊詩以前の弾指詩人の時代には、その性質が一段と驚かたてたやうと考えられる。「万葉集」には、大君を無条件にたたえた歌が少なくない。ヨロツバについていえば、古代における封建時代の文学の特色とおなじものは、中世における「原始時代の文学」にも発見されるやうだ。それらの時代には、秩序を「ゴブサ」とか「満たされたい心」を満たすことである。文学をつくるためには、文学の才能を必要とする。画をかくためには絵画的才能を必要とするやうな、異なる「感動」に於いては足りな

「感動」と、その文学的表現の間には、誰でもとび越せるときかめ深い溝がある。ものみの八うち川の網代木にいたるやうに、知らずとも、という歌は、無意味な句をつみ重ねている。おまげに、意味のある部分

注1 アールノド・ハウザー：「ハンガリーの英文学史家、芸術社会学。著者に『芸術と文学の歴史』などがある。

注2 「海の日沈むをみればなり」：島崎藤村作詞、椰子の妻の一首。

注3 「ものもの」：『万葉集』所収の柿本人麿の歌。「ものもの」は「八十」を音で枕詞。「ものもの八十」は「八十」と「宇治」とを掛けた。を音で枕詞。「網代木」は、川に仕掛けられた網を支える柱。「いさよ」は「いさよ」の音で枕詞。「たつた」は「たつた」の音で枕詞。「たつた」は「たつた」の音で枕詞。「たつた」は「たつた」の音で枕詞。

注4 蕨見：「どうし」。身持つたよくない者。放蕩息子。

間一 傍線部a「最初の芸術は技術が未熟で、とても芸術と呼べるものではなかった」ということ。

間二 傍線部b「技術はまた、ものをみる主体に逆にはたらきかける」の説明として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

間三 傍線部c「人間生活に不可避的につまみとつていられる」といえる理由として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

間四 傍線部d「最初の芸術は技術が未熟で、とても芸術と呼べるものではなかった」ということ。

間五 傍線部e「技術はまた、ものをみる主体に逆にはたらきかける」の説明として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

間六 傍線部f「人間生活に不可避的につまみとつていられる」といえる理由として最も適当なものを次の中から選び、番号で記せ。

間七 傍線部g「最初の芸術は技術が未熟で、とても芸術と呼べるものではなかった」ということ。

間八 次の1〜6の中で、本文の内容に合致するものは○を、合致しないものは×を記せ。

間九 傍線部a「最初の芸術は技術が未熟で、とても芸術と呼べるものではなかった」ということ。

間十 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

「芸術一般では語が大まかすぎて、無理をしなげばならぬ傾れがある。文学に於いては語がきつてきつて、人間はそれこそ文学以前の昔から、さまざまな「感動」によって文字をつつてきた。おどろき、おそれ、悲し、喜び、誇り——あらゆる感動のミニマムにあつたものは満たされたい心であつたように思ふ。文字がつけられた動機になつたものは、見方を変えれば、「無限に満たされたい心」であつたように思ふ。

海の日沈むをみればなり落し異郷の源——といへば、大時代なロマンチズムともいへば、大きな落日をみて感動し、その悲しみをまげたるに似た感動のなかに快感を感じる心が人間にはある。その感動が「リフレク」の怨いを託すばかりでなく、そのころをなぬ人間の蓋因や、すところある人として何をなすべきかをまだ知らぬ人間の思いを託したいし、託する心がある。それもまた、満たされた心のはたらきの一つである。

文学を生む動機には、組織と調音する喜び、秩序の讃美さえ受けたいなかつた。ギリシアの叙事詩には、雄々しい英雄たちの歌がうたわねいて、ホメロスがそれを歌つて歩いた時代のもう一つ前の時代、**C** 両遊詩以前の弾指詩人の時代には、その性質が一段と驚かたてたやうと考えられる。「万葉集」には、大君を無条件にたたえた歌が少なくない。ヨロツバについていえば、古代における封建時代の文学の特色とおなじものは、中世における「原始時代の文学」にも発見されるやうだ。それらの時代には、秩序を「ゴブサ」とか「満たされたい心」を満たすことである。文学をつくるためには、文学の才能を必要とする。画をかくためには絵画的才能を必要とするやうな、異なる「感動」に於いては足りな

「感動」と、その文学的表現の間には、誰でもとび越せるときかめ深い溝がある。ものみの八うち川の網代木にいたるやうに、知らずとも、という歌は、無意味な句をつみ重ねている。おまげに、意味のある部分

平成二十七年入学試験問題解答用紙

国語

注意

答は、解答用紙の所定の欄に別筆で記入すること。
終了後、解答用紙は問題の上に於て置くこと。

一

--

--

--

--

問一	1	ドクソウ
	2	コウミョウ
	3	カンソウ
	4	ソウショウ
	5	キョクタン

問二	ア	膨大
	イ	隠蔽
	ウ	河川敷
	エ	土瓶
	オ	不味い

問三	A	
	B	
	C	
	D	
	E	

問四	
----	--

問五	
----	--

問六	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

二

--

--

--

--

問一	1	ドウクツ
	2	ショウコ
	3	セイジョウ
	4	リュウリ
	5	コブ

問二	ア	窮極
	イ	異郷
	ウ	吟遊
	エ	韻文
	オ	享楽

問三	A	
	B	
	C	
	D	
	E	

問四	
----	--

問五	
----	--

問六	
----	--

問七	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	

志望学科名	
科	
受験番号	
氏名	

保育科 社会人特別選抜入学試験「小論文」論題一覧

(平成27年度～平成25年度)

時間：60分

字数：600字以内

年 度	論 題	
平成27年度	1期	現代社会で保育という仕事にかかわる上で、あなたはどのようなことを大切にしたいと考えていますか。具体例をあげながら、あなたの考えを述べなさい。
平成26年度	1期	「現代社会と子育て」という題で小論文を書きなさい。その際、「保育者の役割」および「幼児の遊び」という言葉をそれぞれ必ず1回以上使用してください。
	2期	「現代社会における幼稚園・保育所の役割」という題で小論文を書きなさい。その際、具体例をあげながら、それをふまえてあなたの考えを論理的にまとめてください。(なお、幼稚園・保育所のどちらか一方についてのみ論じてかまいません)
平成25年度	1期	社会人が改めて大学に入り、「保育を学ぶ」ことの意義について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

歯科衛生科 社会人特別選抜入学試験「小論文」論題一覧

(平成27年度～平成25年度)

時間：60分

字数：600字以内

年 度	論 題	
平成27年度	1期	「コミュニケーション能力の重要性」について600字以内で書きなさい。
	2期	「これからの歯科衛生士に必要とされるもの」について600字以内で書きなさい。
平成26年度	1期	「歯科衛生士に期待される社会的役割」について600字以内で書きなさい。
平成25年度	1期	「インフォームド・コンセント」について600字以内で書きなさい。